

# 深年太陽光発電所の建設が始まりました!!

…市民の手でつくる、市民のための発電所づくりがすすんでいます…

東京電力福島第一原発時事故の反省も原因究明もされない中、原発の再稼働が進められています。再稼働の先陣を切るのが、グリーンコープエリアにある九州電力川内原子力発電所です。のために、再生可能エネルギーの推進にブレーキがかけられてしまっています。

そんな中、私たちグリーンコープは、福島第一原発事故が教えてくれたこと、学んだことを糧に、「生活に必要な電気を国や電力会社に頼ってきたことを反省し、自分たちの手で電気をつくろうと強く決意しました。

その一基目として、2013年9月、福岡県糸島市に「神在太陽光発電所」(約1メガワット)をつくりました。そして、二基目の実現に向けて、グリーンコープ生協みやざきが一生懸命に検討してきました。このたび、宮崎県国富町に1.5メガワットの太陽光発電所を実現することになり、その建設工事が2015年の年明けから始まりました。

さらに現在、他のグリーンコープエリアでの市民発電所づくりの検討もすすんでいます。

## 2015年1月8日 「深年太陽光発電所」起工式 (宮崎県東諸県郡国富町大字深年)



グリーンコープは2011年の原発事故以降、自分たちの手で市民発電所を作っていくこうと思いを寄せて活動してきました。市民でつくる発電所は、未来に残していく大切な財産です。発電所が完成し稼働してからもずっと組合員の思いを寄せていくことを思っています。

ここ自然豊かな国富町で私たちの市民発電所を実現できることに本当に感謝しています。これから本格的な工事が始まりますが、工事関係者の皆さんのがんばり無事工事を終えることを祈っています。

グリーンコープ生協みやざき理事長・永野清美さん

建設工事の安全を祈願する起工式に、グリーンコープや施工業者、国富町役場などの関係者、地権者など70名が参集しました。

深年太陽光発電所には、国富町に工場があるソーラーフロンティアの太陽光パネルが設置されることになります。町とメーカーとグリーンコープが一体となってつくる太陽光発電所です。

「今を生きる人たちのいのちも、未来を生きる子どもたちのいのちも守りたい」、そんな思いを強く持って頑張っています。

GCみやざきのエリアに  
メガソーラーの建設  
始まりました!!

深年発電所の定格出力は約1.5メガワット。約500世帯分の電気を生み出すことができる発電所です。私たち組合員が資金を出し合ってこんな大きな発電所をつくれるなんて、初めはできるわけがないと思っていましたが、みんなで力を合わせることで実現できました。



深年太陽光発電所  
パネル配置イメージ



「グリーン電力出資金」  
ご協力、お願いします!

グリーンコープは、  
自分たちにできることとして  
自然エネルギーによる  
市民発電所をつくっていきます。

1月9日現在、  
グリーン電力出資金  
825,560,000円  
(約7700人)

電気は、私たちの生活にとても大切なエネルギーです。その電気を自分たちでつくるという取り組みは、消費者のごく自然な行動で、自分たちの生活・暮らし方を見つめなおしていくことです。それは、「経済効率優先の商品を、生命を育む食べものに戻していく」というグリーンコープの食べもの運動と同じです。

これまで何気なく使ってきました電気が、「3.11」原発事故を受けて、私たちの目の前に可視化されてきました。誰もがエネルギーや電気のことを、食べものと同じように考えるようになりました。「原発の電気は使いたくない」「子どもたちの未来のことを考えたら、原発はやっぱりいけないよね」。そんな私たちの思いを改めて確認し勇気を出して大きな一歩を踏み出し、二基目の市民発電所をつくるところまでたどり着きました。

今、一般市民である私たちが発電所をつくることは、大きな意義があります。困難があるても、あきらめずにグリーンコープの市民発電所をつくる道と一緒に考えてつくっていきましょう。



### ■生活に欠かせない「電気」のこと、「エネルギー」のこと、もっと考えよう!!

「3.11」の原発事故によって、電気がより身近になり、国のエネルギー政策や電会社の動きにも敏感になりました。また、政権が代わると同時にエネルギー政策の根幹が揺らぎ、「原発は重要なベースロード電源」とされ、あっという間に原発再稼働へと舵が切られました。しかもあるうとか、昨年新しいエネルギー基本計画を作成する際のパブリックコメントでは87%が「原発ゼロ」、「原発推進は1%」という事実が封印されてしまっていたのです。それだけではありません。現在の電気代の中に原発の廃炉費用は盛り込まれているものの、電力自由化後は廃炉費用の上乗せが難しくなるとの見方で、新規参入する小売会社の電力利用者にも負担させるための仕組みづくりが経済産業省で検討されているといいます。

国民の意志や思いをないがしろにし、地球規模での自然エネルギーという大きな流れを無視してなお、経済だけを優先させて原発を推進しようとしている…、このような事実にキチンと目を向いていきましょう。

## 「グリーンコープ・グリーン電力出資金」申込書

コース \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_

組合員番号 \_\_\_\_\_ 組合員名 \_\_\_\_\_

① グリーン電力出資金の総額	_____	0	0	0	0	円
② 出資方法	_____	一括	分割			
③ 出資開始月 (○をつけて下さい)	●今月から	●来月から	●( )月から			

■分割の場合は、「1回の出資金額」と「出資回数」を記入してください。

1回の出資金額	_____	0	0	0	円
出資回数	_____				回

※事務局記入欄  
キリトリ線

受付日	_____	受付担当者名	_____	グリーン電力出資金管理 No.	_____
-----	-------	--------	-------	-----------------	-------

### 《記入例》

① グリーン電力出資金総額	_____	5	0	0	0	0	円
② 出資方法	_____	一括	分割				
③ 出資開始月 (○をつけて下さい)	●今月から	●来月から	●( )月から				

■分割の場合は、下記の「出資金額」「出資回数」欄に記入してください。

1回の出資金額	_____	2	0	0	0	円
出資回数	_____				2	5回

### ※「グリーン電力出資金」の呼びかけにあたって

- ①グリーン電力出資金は、自然エネルギーによる発電設備や市民発電所の建設、そのための調査研究に使われます。
- ②資金の運用は、一般社団法人グリーン・市民電力に役員を派遣して、財務状況などを確認していきます。
- ③万が一、一般社団法人グリーン・市民電力が倒産するような場合は、損失の一部を生協が補てんしなければならない可能性があります。そのようなことがないように、一つひとつの事業について、グリーンコープで確認していきます。
- ④出資開始から10年間据え置きをお願いしています。  
(脱退や減資が必要な場合は、担当者にご連絡ください。)

